

Challenging

OTSUMA Ranzan



大妻嵐山
ここでなら
できそう。

Otsuma Ranzan Junior and Senior High School

Global Eco-Science School

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 558 0493-62-2281 大妻嵐山中学校高等学校 2020.12.1

【嵐山の「ハレ」日】 クラスの『絆』…山よりも高く、海よりも深し!…

コロナ禍の中、決まりきった平凡な毎日が続いているなどとボヤいている君。何か心が浮き立つような、よいことがないかとそんな思いを抱いている君たちのために…。授業以外の場で生徒同士が時間を共有し、大妻嵐山生の仲間として絆を深めることができれば……。そんな願いや思いで実現した「嵐山の日」。中学部は「子ども動物自然公園」、高1は「世界遺産富岡製紙工場とアプトの旅」、高2は「長瀬自然散策」と企画はそれぞれでしたが、どの場所も当日は、雲一つない晴天。また、ちょうど紅葉シーズンにあたり、色とりどりの葉に囲まれながら、普段とは趣をかえて友人とのコミュニケーションをとることができ、充実した時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

民俗学者の柳田國男風に言えば、「嵐山の日」はまさに当日の天気のように「ハレ」の日です。日常生活を営むための「ケ」のエネルギーが枯渇する「ケガレ」を回復させるための特別な非日常と言えるでしょう。

だったら、毎日が「ハレの日」になればいいのに、なんて思っている人はいませんか。本当は単調な日常こそが、私たちの成長を支えているのです。結婚式や祭りが毎日だったら、皆さんどうですか。エネルギーの過剰摂取は体調不良のもとですよ。ハレの喜びとともにケの大切さを胸に刻んでください。でも、やっぱり疲れたときには、「ハレ」ですかね。とにかく、「ケガレ」を乗り越えてメリハリのある生活で、これからも皆さんの絆を深めていきましょう。



【「Yellow Dream Project…持続可能な女性支援プロジェクト」…】 ～SDGs 達成のために、キミが出来ることは?～

11月10日(火)に大妻女子大学家政学部金田卓也教授による「Yellow Dream Project～持続可能な女性支援プロジェクト～」に関する講演会がオンラインで行われました。このプロジェクトは、「大学SDGs ACTION! AWARDS 2020」の最終選考会で、スタディツアー賞を受賞したもので、金田ゼミ生が2015年4月に発生したネパール地震で大きな被害を受けたムラバリ村の復興に協力したいと考え立ち上げたものです。学校にも通うことができない子どももいるほど貧しい村で、男性中心の社会でさまざまな問題を抱えて生きる女性たちの自立を支援するため、村で育つウコンに着目。日本でウコン染めをした黄色いカーテンと自分たちの古着を村に送ったそうです。長期的な視点から、ウコン染めのカーテンをはじめ、マリーゴールドやバナナ、ミカの栽培を行うことで村に職業を生み、現金収入を得ることを目指しているのです。アートと持続可能な開発を融合させた幸せな村おこし。教授のプロジェクトを語る表情はまさに幸せそのもの。今回は、こうした金田ゼミの活動について具体的に知ってもらい、自分たち自身を振り返って、果たして何が出来るのだろうか。自分たちにできることは何なのかを考えてもらいたい。何も、初めから大それたことを目指すことはない。身近な小さな積み重ね、その積み重ねこそが持続可能なデキルことなのでしょう。



【祭りだ 祭り!】 … テーマは「わっしょい!」

今年の大妻祭は、本校初となるオンラインでの開催。生徒たちが自ら企画し、準備を進めている「2020 大妻祭」。

現状を憂いているだけでは始まらない。今、私たちにできること。そして、それをやりぬくこと。私たちにそ



の覚悟が試された気がしています。色々な試行錯誤を繰り返しながら、11月14日の開催。始まりは少々時間がかかったものの、何とか無事に終了。クラス動画や部活動動画は、とてもクオリティの高いものと評判でした。先が見えない状況下でのオンライン大妻祭を終えて、「一歩」また、私たちの歩みに力強さが増したものと実感しています。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

【やれば・できる!】～自らの目標に向かって歩みだすこと～

11月17日(火) 6・7限に高校3年生の 国際文化研究講演会を開催しました。

国際的に活躍している社会人の方の講演を聞いて自分の将来について具体的に考え、今後の自分自身の学びをさらに深めていく契機とすることをねらいとしています。

今回は、講師に日本コロムビア株式会社のディレクターとして活躍している大越美保子様をお招きして、今に至るまでの歩みや現在の仕事について、はたまたドイツ留学についてなど様々な分野でのキャリアについて熱いお話をいただきました。

音楽家やミュージカル俳優などを目指し、努力を積み重ねてきた日々。明確な目標を常に自身へのモチベーションとしてドイツ留学など何事にもポジティブにとらえ常に前進。その結果、いろいろなめぐりあわせが自身に振り返ってくる。逆オファーという表現が度々出てきましたが、自分が求めたときには報われなくても、努力を続けることで自分自身の機が熟した時に、逆に求めていたものが先方より自身に降臨してくるという。

何とも不思議な感じもしますが、実体験した方からの言葉はやはり説得力抜群です。自らの目標に向かって歩みだすことの大切さを実感させられた講演会でした。やはり「やれば、できる」なのでしょう。



【税の作文表彰!】～受賞おめでとうございます～

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会では、全国の中学生や高校生から「税についての作文」の募集を行っています。これは、将来を担う皆さんが、身近に感じた税に関すること、学校で学んだ税に関すること、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めていただくという趣旨で実施しているものです。このコンクールにおいて本校の生徒が入賞し、11/24(火)に嵐山町民ホールで表彰式が行われました。今回入賞した生徒は、東松山税務署長賞:村松美憂さん(高1)



埼玉県租税教育推進協議会長賞:村中彩桜さん(中2) 田村由依さん(高1)

埼玉県税務連絡協議会長賞:新嶋里奈さん(高1)

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞:秋山菜緒さん(中2)でした。

皆さん、受賞おめでとうございます。